

学校法人香川栄養学園 行動規範

この行動規範は、法人及び設置する学校の諸活動において、学校法人香川栄養学園の役員及び教職員が守らなければならない倫理的な判断基準・行動規範を定めたものです。私たち、学校法人香川栄養学園に働くものは、この行動規範に則り、倫理観を持って私たちが掲げる教育研究の目的を達成するために行動します。

1. 建学の精神を自ら実践

私たちは、「食により人間の健康の維持・改善を図る」という建学の精神に則り、自ら毎日の生活の中で栄養学の実践を行い、日々食による健康の実現に努めます。

2. 建学の理念に基づく有為な人材の育成

私たちは、本学園の建学の理念を実現する教育を行い、学ぶ者の個々の能力を高め、社会から求められる人材の育成に努めます。そのための教育及び学習環境を整備し、授業内容や教育課程の改善を行い、学生生徒へのサービス向上に努め、常に学びの質を高める努力を行います。

3. 倫理観を持った研究活動

私たちは、学術研究活動において高い倫理観を持ち、研究成果を教育及び社会に積極的に還元します。また、研究活動において、いかなる不正行為も起こさない環境を整備するとともに、研究の実施、研究費の使用の適正を期します。

4. 公正かつ適切な入学者選抜

私たちは、多様な受験の機会を提供し、公正かつ適切な入学者選抜を行うとともに、関係するあらゆる情報の管理等に細心の注意を払い入学者選抜を実施します。

5. 開かれた学校、社会貢献

私たちは、教育機関に課せられた公共性と社会的使命を果たすべく、常に地域社会への貢献や連携を考え、開かれた学校づくりに努め、社会貢献を教育機関としての重要な役割の一つと考え、教育研究の成果を積極的に社会に還元します。

6. 健全な職場環境の構築

私たちは、この規範を達成し、学園の理念・目的を達成するために一致協力し、安全で健康的な職場環境を整備し、働く者全員がお互いの立場と役割と人格・人権を尊重し、プライバシー侵害や一切の差別・ハラスメントのない職場を築きます。

7. 法令の遵守と公私の峻別

公的資金や社会的支援を受けるに相応しい信頼ある教育研究機関として、私たちは、法令や社会規範を遵守し、良心に従い公序良俗に反することなく、本学の諸規程を堅実に守り、公私を峻別し、業務上知り得た情報は適切に管理・保持するとともに清廉かつ誠実に職務を遂行します。

8. 目的にかなった適切な資産・資金の利用と管理

私たちは、学園の財政が学生生徒等納付金、篤志家からの寄附及び国庫補助金により成り立っていることを認識し、教育機関としての社会的使命にかなった適正な利用に努めます。資産運用を行うにあたり、教育機関としての性質に鑑み、確実な運用を行います。また、取引先の選定を行うにあたっては、合理的かつ公正な方法で行い、自己の立場を利用した取引は行いません。

9. 積極的な情報公開

私たちは、学生生徒・卒業生・保護者ばかりでなく、社会全体に対し、教育研究活動状況や財務状況等を適切に開示し、学園に対する理解と信頼を確保します。

10. 環境への配慮

私たちは、現在の地球環境の現状を認識し、限られた地球資源の有効活用と環境への負荷を減らす活動を推進し、持続可能な社会の実現に貢献します。

以上

平成 24 年 7 月 1 日